

授 業 科 目 名	失語症Ⅳ	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	春 芳 準 朗	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕</p> <p>臨床現場における、言語治療の進め方を把握し、言語訓練の訓練技法を習得する。 失語症者に適切かつ正しい言語治療を提供するために、心理的側面にも充分注意を払う。</p> <p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査結果から訓練計画を立案し症例報告の大枠が作成できる ・ 失語症者のICFの作成が出来る。 		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	失語症の言語聴覚療法の全体像		
第 2 回	失語症の言語聴覚療法の全体像		
第 3 回	失語症の掘り下げ検査		
第 4 回	失語症の掘り下げ検査		
第 5 回	失語症の掘り下げ検査		
第 6 回	失語症の評価・診断		
第 7 回	失語症の評価・診断（ICFの作成）		
第 8 回	臨床実習の概要、症例報告書の書式		
第 9 回	症例報告書の作成(1) 症例Ⅰ、情報収集		
第 10 回	症例報告書の作成(2) スクリーニング検査結果まとめ		
第 11 回	症例報告書の作成(3) SLTA結果 まとめ		
第 12 回	症例報告書の作成(4) ICF		
第 13 回	症例報告書の作成(5) 訓練立案		
第 14 回	症例報告書の作成(6) 考察・まとめ		
第 15 回	まとめ		
評 価 方 法	レポート30% 定期試験70%		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 藤田郁代・立石雅子編著「失語症学」（医学書店） 小嶋知幸編著 「失語症の評価と治療」（金原出版株式会社）</p> <p>〔参考図書〕 杉下守弘編著 「失語症言語訓練講座」（三輪出版） 波多野和夫・中村光編著 「失語症学」（医歯薬出版株式会社）</p>		
履 修 上 の 留 意 点	前期の授業の進行度合いによりフレキシブルな内容になります。		
メ ッ セ ー ジ	実習にむけて重要な所です。		